

広 資 料 第 1 2 1 号
令 和 5 年 1 0 月 2 6 日
企 画 財 政 部 企 画 政 策 課
市 民 情 報 提 供 資 料

立川駐屯地創立50周年記念行事（航空祭）における
航空機騒音の軽減等について（要請）

立川飛行場周辺自治体連絡会は、令和5年10月29日（日）に開催される立川駐屯地創立50周年記念行事（航空祭）に際し、別紙のとおり要請しましたので、お知らせします。

立川駐屯地創立 50 周年記念行事（航空祭）における航空機騒音の軽減等について（要請）

立川駐屯地において、来る令和 5 年 10 月 29 日（日）に立川駐屯地創立 50 周年記念行事（航空祭）が開催され、編隊飛行等が実施されると聞いております。

立川飛行場の周辺は市街化が進展し、航空機騒音に対する苦情や安全面の要望が多く寄せられております。

また、本年 2 月 1 日、木更津駐屯地に暫定配備中の陸上自衛隊 V-22 オスプレイによる立川飛行場への訓練飛来が開始され、これまでに計 3 回飛来したこともあり、立川飛行場における航空機の運用は注目を集めており、飛行場周辺住民の不安は一層高まっております。

つきましては、立川飛行場周辺自治体連絡会は、立川駐屯地創立 50 周年記念行事（航空祭）の開催に当たり、次のことを要請します。

記

1. 立川駐屯地創立 50 周年記念行事（航空祭）に関わる航空機の当日及び予行訓練時の飛行に当たっては、災害活動を想定した必要最小限の飛行にとどめ、航空機騒音の軽減に努めるとともに細心の注意を払うこと。特に編隊飛行については、周辺地域への影響が大きいため中止すること。やむを得ず実施する場合は、必要最小限の飛行にとどめ、その必要性を広く周知すること。
2. 会場内及び立川飛行場周辺の安全対策を徹底すること。

令和 5 年 10 月 25 日

陸上自衛隊 立川駐屯地司令 佐藤 健 殿
警視庁航空隊隊長 大谷 英之 殿
東京消防庁装備部航空隊隊長 久保田 広一 殿

立川飛行場周辺自治体連絡会構成市長

立川市長	酒井大史
昭島市長	臼井伸介
小平市長	小林洋子
日野市長	大坪冬彦
国分寺市長	井澤邦夫
国立市長	永見理夫
東大和市長	和地仁美
武蔵村山市長	山崎泰大

幹事 立川市長 酒井大史